

# 産地戦略

実施主体 JA豊橋茄子部会みどり戦略協議会  
 都道府県 愛知県  
 対象地域 豊橋市  
 対象品目 ナス

実施期間 令和6～10年度



## 新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類 該当するものに●を付してください。

|               |                          |                         |
|---------------|--------------------------|-------------------------|
| ● 化学農薬の使用量の低減 | 温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減） | 温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策） |
| 化学肥料の使用量の低減   | 温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）     | 温室効果ガスの削減（省資源化）         |
| 有機農業の取組面積拡大   | 温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）   | 温室効果ガスの削減（その他）          |

## 目指す姿

令和4年度から、アザミウマ類の天敵である土着のタバコカスミカメ地域増殖ほを設置し、天敵利用農家23名にタバコカスミカメを供給する体制ができた。2年間の実証試験を経て、アザミウマ類及びコナジラミ類の防除及び化学合成農薬の削減に効果があることが明らかになった。一方で、新たに天敵を導入する意向のある農家に対して、現状の地域増殖ほでは供給量が不足しており、供給体制に課題がある。新たな地域増殖ほの確保や天敵温存植物の栽培方式の見直し等を行い供給体制を強化する。新規の天敵を導入する部会員を増やし、取組面積7haを目標に産地にこの技術を定着させていく。そして、環境にやさしく省力化が図れる技術を定着させることで、産地全体の防除回数の削減につなげ、本地域のナス栽培における環境負荷の低減を目標とする。

## 現在の栽培体系

|       | 4月    | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月   | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考                            |
|-------|-------|----|----|----|----|------|-----|-----|-----|----|----|----|-------------------------------|
| 主な作業名 |       |    |    |    |    | 薬剤散布 |     |     |     |    |    |    | 農薬使用回数22回<br>(うち殺虫剤使用剤数延べ23剤) |
| 技術名   | 化学的防除 |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |    |                               |

## グリーンな栽培体系

|       | 4月                     | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月  | 10月 | 11月  | 12月 | 1月                    | 2月 | 3月 | 備考                          |
|-------|------------------------|----|----|----|----|-----|-----|------|-----|-----------------------|----|----|-----------------------------|
| 主な作業名 | 地域増殖ハウス管理              |    |    |    |    | 薬剤散 |     | 天敵放飼 |     | 【害虫発生時】天敵に影響の少ない薬剤を散布 |    |    | 農薬使用回数18回<br>(うち殺虫剤使用剤数20回) |
| 技術名   | 土着天敵タバコカスミカメを利用したIPM防除 |    |    |    |    |     |     |      |     |                       |    |    |                             |

## グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

|                       | 現状R4 | 目標R10 | 備考 |
|-----------------------|------|-------|----|
| (参考) 対象品目の作付面積 (ha)   | 14   | ▶ 14  |    |
| グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)   | 1    | ▶ 7   |    |
| 環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha) | 1    | ▶ 7   |    |
| 省力化に資する技術の取組面積 (ha)   | 1    | ▶ 7   |    |

取り入れる技術に応じて取組面積の目標等が異なる場合は、行を追加する等で分かるように記載してください。

## 環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

### 〈技術の内容・効果〉

| 分類       | 産地の慣行     | 新たに取り入れる技術     | 期待される効果                       |
|----------|-----------|----------------|-------------------------------|
| 環境<br>省力 | 化学農薬のみの防除 | ▶ 土着天敵を活用したIPM | 化学農薬の使用回数の削減<br>薬剤抵抗性の発生リスク軽減 |
|          |           | ▶              |                               |

### 〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

| 分類       | 指標           | 現状        | 目指すべき水準     | 備考         |
|----------|--------------|-----------|-------------|------------|
| 環境<br>省力 | 化学農薬の使用回数（回） | <b>22</b> | ▶ <b>18</b> | 殺虫剤23回→20回 |

指標は、以下のとおり設定してください。

- 化学農薬の使用量の低減の場合：使用回数、成分数、使用量、ADIなど
- 化学肥料の使用量の低減の場合：使用量、NPK成分量など
- 省力化に資する技術の場合：作業時間、作業人員、作業工程数など
- 有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの排出削減：省略可（設定した場合も、フォローアップの対象とするかどうかは任意とします）
- 化学農薬の使用量低減、化学肥料の使用量低減の場合も、技術の特性上設定が困難な場合は都道府県知事が認めれば省略可

\* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

\* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

### グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

- ・部会の研修会や出荷反省会等でJA豊橋茄子部会みどり戦略協議会の活動を報告し、新たに導入意向のあるナス農家に周知する。
- ・新規導入農家がタバコカミカメを必要数導入できるように、新たな地域増殖ハウスの確保や栽培方式の見直し等を行い供給体制を強化する。
- ・新規でもタバコカミカメを定着させることができるマニュアルになるように、協議会構成員で情報交換を行い、随時マニュアルを更新する。

### 関係者の役割

| 関係者名 | JA豊橋茄子部会  | JA豊橋  | JAあいち経済連  | 愛知県（普及組織：東三河農林水産事務所、普及戦略部）  |
|------|---|---|---|---|
| 役割   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域増殖ほの栽培管理</li> <li>・地域増殖ほの運営管理</li> <li>・経理</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会、検討会の開催</li> <li>・地域増殖ほの運営指導</li> <li>・技術指導</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新資材・販売等情報の提供</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術指導</li> <li>・地域増殖ほ運営管理支援</li> <li>・技術資料等情報提供</li> </ul> |

### その他